

令和7年度(2025年度)とうきょう すくわくプログラム活動報告書(八王子市)

施設名	わくわくランド
担当者名	駒津光江

1. 活動のテーマ

<テーマ>

音

<テーマの設定理由>

(テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など)

- ・身の回りの様々な音に興味を持ち、音を通じて楽しさを感じる。
- ・身近な音に気づき、楽器を使い自分で鳴らす経験に繋げる。
- ・音に親しみながら楽しみ、更に探究心を深められる。

2. 活動スケジュール

- ・8月 突然音が流れ始めた時にどう反応するか。
- ・9月 子どもの考えやイメージを聞き出すための準備、どうだったかの問いかけ。
- ・10月 ミュージックパッドを使っでの活動。
- ・11月 ミュージックパッドで音を出すための方法。
- ・12月 ベルハーモニーを使っでの活動。
- ・1月 音階の理解が出来るか。
- ・2月 音を出す物への理解。
- ・3月 いろいろな音を聞いての問いかけや音のテンポの即時反応。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)

- ・電子ピアノ、ミュージックパッド、ベルハーモニー、新聞紙
- ・デジタルカメラ、記録用パソコン

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

- ・ミュージックパッドやベルハーモニーを使い、音を出す活動を行った。
- ・電子ピアノで様々な音を出し子どもたちに問いかけをして感じ方や気づきを見る。
- ・リトミックを取り入れ音と動きへの反応を見る。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)

ミュージックパッドやベルハーモニーは使い方がわからず玩具となっていたが保育者が使い方を伝えると音を出すことが出来た。

電子ピアノの音を聞き「どんな音かな」の問いに感じたことを共有した。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

テーマが視覚的なものではないので進め方が難しかった。

音の聞こえる方向への反応は全員が興味を示し、特に1～2才児は日常よく耳にする音（例：自然の音、乗り物特に緊急車両の音）には反応が大きかった。

初めて目にする楽器は触れて音が出ることへの気づきがあり保育者が使い方を教えることにより「音楽」へと繋がられた。

「問いかけ」に対しては「言葉」で答えるには難しい年齢なので「答え」を引き出すための声掛けがだんだんとテーマから外れてしまっているのではと考えてしまうこともあった。

「音」への気づきによって「言語」「行動」「探究心」へと繋がっていくことが実感として感じる事が出来たことが今回の成果である。